



2015 ~ 2016 年度
R I テーマ

Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン (国籍・スリランカ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ 別府亀の井ホテル 〒874-0936 別府市中央町5-17
TEL (0977) 22-3301 FAX 21-1232
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	平野 教康	理事	西馬 良和	役員	会長	平野 教康	SAA	前田 哲矢
〃	梶原 和朗	〃	村津 忠久	副会長	梶原 和朗	直前会長	前田 哲矢	
〃	後藤 隆	〃	亀井 孝	幹事	佐々木久宜			
〃	森園 伸也			会計	衛藤 秀子			

VOL. 28 - 14
2015年10月20日

第1253回例会

会報委員長 堀 由美

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S 別府中央R.C.の歌
- ◆唱 歌 どじょっこふなっこ

会長の時間 会長 平野 教康

皆さん、こんにちは会長の平野です。
今日の講師は鳴海会員です。ロータリー歴がともながく私達の大先輩でありロータリーを一番知っている方です。鳴海家の歴史も聞けるとの事ですのでとても楽しみにしています。
本日も宜しくお願いいたします。

幹事報告 佐々木久宜

一経済と地域社会の発展月間(米山月間)一

- 本日の卓話
「鳴海家の歴史について」鳴海 淳郎 会員
- 公益財団法人日母おぎゃー献金基金は2,500円集まりましたので10月14日に送金致しました。ご協力ありがとうございました。
- 10月18日(日)13:30~別府ビーコンプラザに於いて「第38回別府市民合唱祭」が開催され、村津忠久会員が出演致しました。

◆出席報告 委員長 衛藤 秀子

本日 の 出 席	会 員 総 数	28 名		
	出 席 者	16 名		
	事前メイクアップ	0 名		
	理 事 会 承 認	0 名		
	出 席 免 除	4 名		
前 々 回 の 訂 正 10/6	欠 席 数	8 名		
	出 席 率	66.67 %		
	出 席 率	80 %		
	事後メイクアップ	0 名		
	理 事 会 承 認	0 名		
連 続 通 算	出 席 免 除	3 名		
	修 正 出 席 率	88 %		
		連 続 通 算	- 回 750 回	100 %

・メイクアップ

事前
事後
欠席 亀井、西馬、中尾、森園、西林、
島田、高宮、梅津
出席免除 溝部、河村、木村



出席者：平野教康会長、後藤隆、梶原和朗、
亀井孝、近藤賢司、前田哲矢、佐藤
真広、島田光男、土谷昌志、梅津圭
二、田添靖剛 各会員

5. お祝い

配偶者誕生日 亀井 京子 さん (10月21日)
※ご自宅にお花が届きます。

6. 例会変更のお知らせ

杵築RC 10月29日(木)の例会は、訓練用
心肺蘇生人形贈呈式の為 同日
10:30~杵築速見消防組合杵築消
防署に時間・場所変更

大分キャピタルRC 11月4日(水)の例会は、職場例
会の為 同日12:30~大分銀行宗
麟館に場所変更

湯布院RC 11月4日(水)の例会は、別府近隣
7RC親睦ソフトボール大会の
為、11月1日(日)8:30~野口原
ソフトボールグラウンドに、日時・
場所変更

7. 次週例会の予定

「職場例会」

※12:30~豊和銀行別府支店に於いて開催い
たします。当日は職業活動表彰を行います。
被表彰者：おおいたインフォメーションハウス株式会社
取締役社長 宮崎 和恵 氏

8. 本日の回覧

- ① くにさきRC 週報
- ② 自衛隊別府連隊後援会より「扇山」
- ③ 「ソフトボール練習試合(VS別府北RC)」
出・欠席
- ④ 「第32回別府近隣7RC親睦ソフトボール
大会」出・欠席
- ⑤ 「職場例会」出・欠席
- ⑥ 「もみじ谷奉仕作業」出・欠席

9. 本日の配布

- ① 週報No.1252
- ② 2015-2016年度別府中央RCの現況と活動
報告

スマイルボックス 委員長 近藤 賢司

○平野(教)会長

昨夜、別府ロータリークラブとのソフトボ
ールに参加した会員様、お疲れ様でした。サヨナ
ラ勝ちは大ビックリでした。本大会で頑張りま
しょう！

○梶原会員

昨日のソフトの試合お疲れ様でした。私のサ
ヨナラヒットで勝利！スマイル。

○村津会員

「第38回別府市民合唱祭」は、一昨日の日曜日、
ビーコンプラザで、13団体・380人の出演で開
催され、927人のお客様から拍手を頂きました。
全てに感謝してスマイル。

○鳴海会員

卓話にスマイル！

○前田会員

昨日の別府ロータリーの練習試合、梅津様2
ランホーム？と最終回、後藤様のミラクル
ヒット？で1点差の8対9で勝ちました。相手
ピッチャーの手抜きもあったでしょうが、本番
が楽しみです。

○森会員

う～ん、とにかくスマイル。

○土谷会員

昨日のソフトボール練習試合はお疲れ様でし
た。前回の優勝チームに勝ちましたね！本番の
試合もがんばりましょう。



ソフトボール練習
試合の様子



鳴海家の歴史について



わたしの家は1803年以來回船問屋（屋号・菓子安、代々・菓子屋安兵衛を名乗る）をしていましたが、明治維新以後は菓子安という温泉宿をしていました。

江戸時代からの回船問屋で、その船着き場は流れ川の河口に近く、かつては海までずっと鳴海家の土地で、浜には倉庫が4つもあったと言います。

ところが、先々代の鳴海安太郎が長崎に遊びに行っておかなか帰ってこなかったり、お酒が好きで財産をなくしてしまったと伝えられています。

わたしはその6代目として、大正15年1月1日この家に生まれました。

成績優秀だった5代目の母は、回船問屋の跡を継がずに東京菊坂の女子美術学校英文科に進みましたが、祖母ユキエが亡くなったために中退せざるを得なくなり、郷里別府に帰ってきました。孤独感に堪えられず、良寛に傾倒し短歌を詠むようになり、いろいろ歌集を残しています。

このような母は東京帝国大学農学部実科を卒業して農学校の教員であった父と養子縁組をすることとなり、当時農学校のあった三重町に移住することになりました。それで、幼年時代は大分県三重町で過ごすことになったわけです。

初 代：菓子屋安兵衛
 ・文化元年（1803）
 ・嘉永7年7月4日（1854）没（51才）

二代目：菓子屋安兵衛
 ・天保9年（1838）
 万延元年9月（1860）22才 ※
 ・明治元年10月2日（1868）没（30才）

三代目：菓子屋安米
 ・天保14年（1843）
 ・明治24年12月15日（1891）没（48才）

四代目：鳴海安太郎
 ・明治37年9月28日（1904）没（37才）
 鳴海ユキエ
 ・大正9年4月12日（1920）没（49才）

五代目：鳴海敬子
 ・明治37年5月8日（1904）生
 ・平成9年12月25日（1997）没（93才）
 鳴海 茂
 ・明治31年5月7日（1898）生
 ・昭和62年4月6日（1987）没（88才）

六代目：鳴海淳郎
 ・大正15年1月1日（1926）生
 鳴海静子
 ・昭和5年3月30日（1930）生

※ 御講帳面箱について

「萬延元年庚申歳 九月吉祥日 新添」と書かれているように、1860年、当時22才の二代目・菓子





屋安兵衛が作製したものと思われる。

※ 江戸時代から回船問屋をしており、そのためか万延元年（1860年）の年号が書かれた「御講帳面箱」や、大阪にショウガを運んでご褒美をいただいたという将軍家の三つ葉葵の御紋入りの金杯などが残っています。

（明治35年新撰豊後温泉誌によりますと、別府はショウガの生産が盛んで、そのショウガを大阪に積みだし、そのご褒美として 将軍家から葵の紋入りの金杯をいただいたとされています）

鳴海備忘録について

4代目鳴海安太郎が書いた備忘録で、当時長崎で暮らしていた明治22年（当時22歳）1月1日からの日記で、内容はいろいろだが、明治の世相や別府に帰ってからは別府の歴史に関する事項が散見される。

鳴海備忘録（1）

明治を肌でかんじる古記録

最初の部分は4代目鳴海安太郎（明治37年（1904）9月28日没、享年37歳）が書いたもので、

- ・安太郎が20歳代の頃に長崎で暮らしていた明治22年1月からの日記
- 同年2月11日の項には大日本帝国憲法発布で数万人が夜中まで道にあふれた長崎での祝賀の様子が記されている。
- ・明治26年度の項：4月21日別府町と改正
- ・明治39年には別府・浜脇両町が合併して別府町となっている。

鳴海備忘録（2）

水道や別府署建設に寄与

・明治期の備忘録、別府警察署新築などに50銭寄

付した記録が残っている。

明治31年7月には、簡易水道のことで、「北浜飲料水道」へ「楠浜東組」から100円寄付したとある。

鳴海備忘録（3）

・鳴海家が戦前菓子屋または菓子安の屋号で営んでいた旅館の年間宿泊人の数。

明治32年（1月～12月）が 1776人

明治33年が・・・1632人

明治34年が・・・1587人

御講帳面箱について ※

「萬延元年庚申歳 九月吉祥日 新添」と書かれているように、1860年、当時22才の二代目・菓子屋安兵衛 が作製したものと思われる。



御講帳面箱



鳴海備忘録について

下記に示される4代目鳴海安太郎が書いた備忘録で、当時長崎で暮らしていた明治22年（22歳）1月1日からの日記で、内容はいろいろだが、明治の世相や別府に帰ってからは別府の歴史に関する事項が散見される。



鳴海備忘録

大阪にショウガを運んでご褒美をいただいたという将軍家の三つ葉葵の御紋入りの金杯などが残っている。



葵の御紋入りの金杯

